

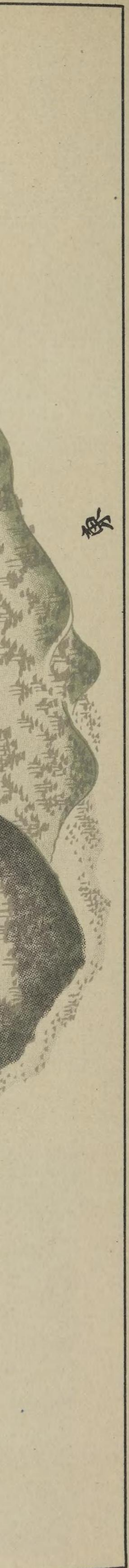
(10) 圖附林養涵源水



圖繪林水某姓百村澤田上藩內庄

此は江戸府下野州上野郡上田村に在る水林の源水也。此の水は山に湧き出でて、
 谷間に流れて、田圃に灌漑する。其の水は清冽にして、
 飲之可也。其の地は肥沃にして、
 稲作に宜し。其の村人は、
 此の水を大切に守り、
 後世に傳へて置く。其の
 水は、
 江戸府下野州上野郡上田村に在る水林の源水也。此の水は山に湧き出でて、
 谷間に流れて、田圃に灌漑する。其の水は清冽にして、
 飲之可也。其の地は肥沃にして、
 稲作に宜し。其の村人は、
 此の水を大切に守り、
 後世に傳へて置く。其の
 水は、
 九月廿七日夜藤平老翁と號す
 高行奉郡藩戸水

狀書の勵獎立植源水郎一多橋高行奉郡藩戸水



第

(11) 圖 附 林 養 涵 源 水



(11) 圖 附 林 養 涵 源 水

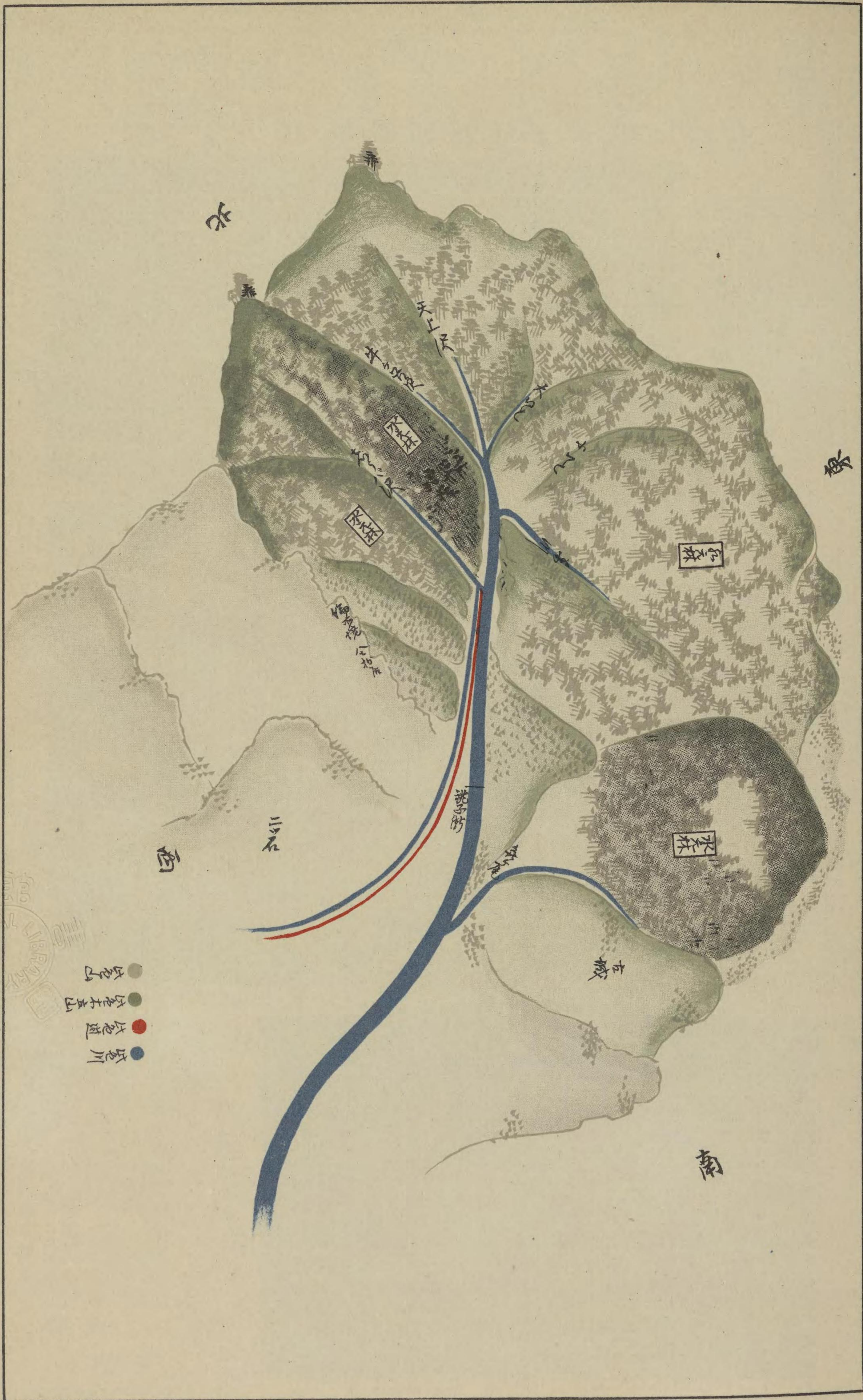
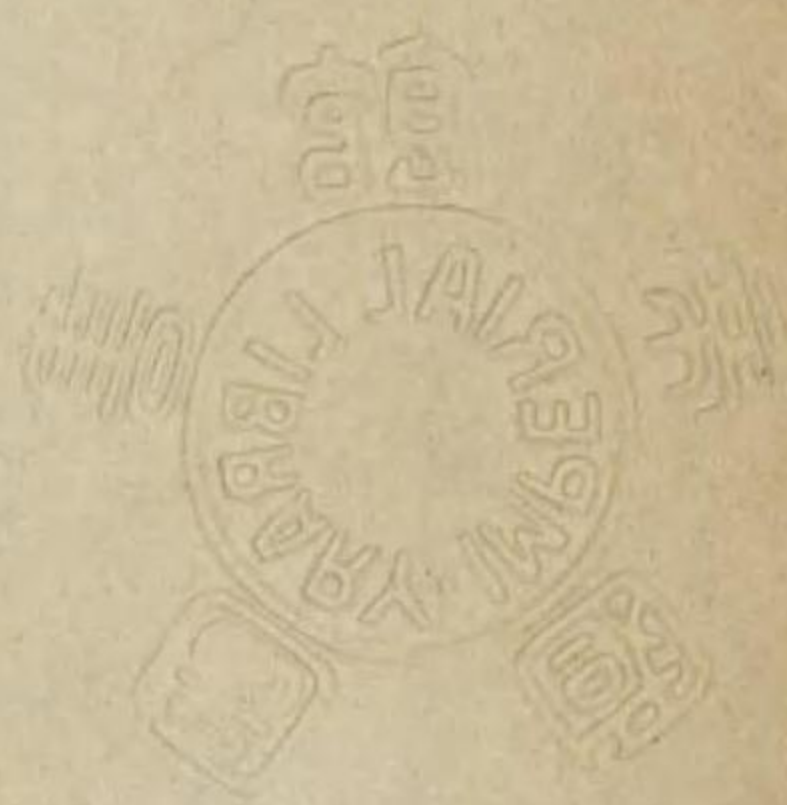
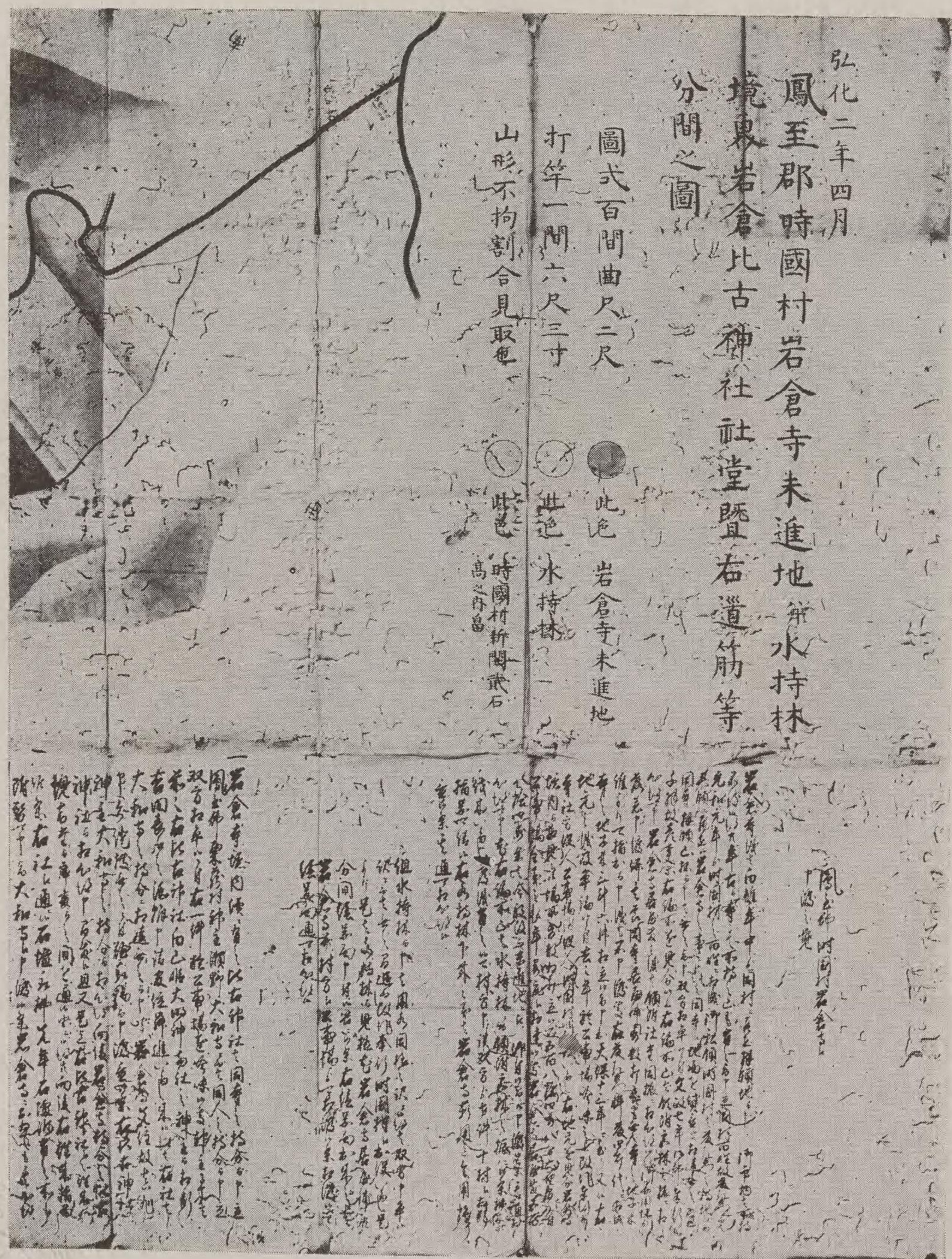


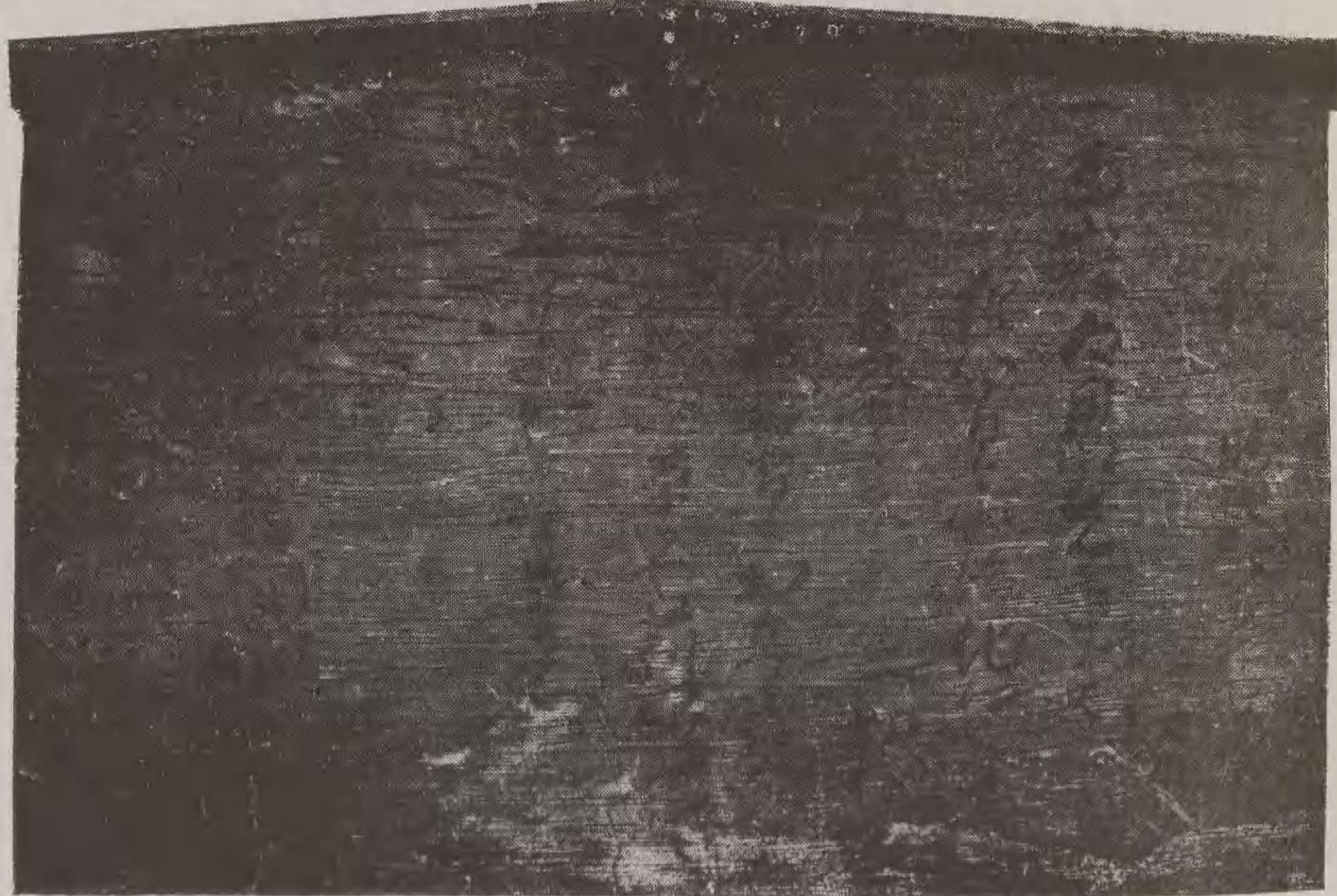
圖 古 林 元 水 藩 田 高



(12) 圖附林養涵源水



〔上圖〕金澤藩岩倉寺水持林古圖



〔下圖〕
德島藩八多村用水林制札



(13) 水 源 涵 養 林 附 圖



(一其) 肥 後 國 上 益 城 郡 吉 無 田 國 林 內 水 源 涵 養 林



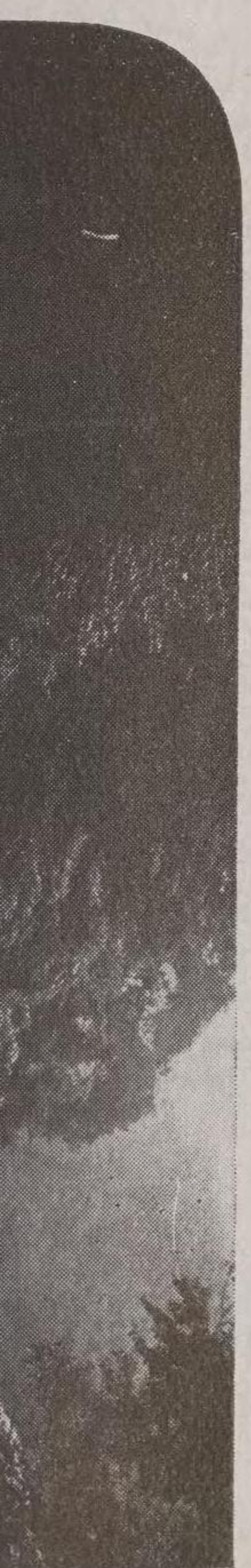
(二其) 肥 後 國 上 益 城 郡 吉 無 田 國 林 內 水 源 涵 養 林



(14) 圖 附 林 養 涵 源 水



肥



肥

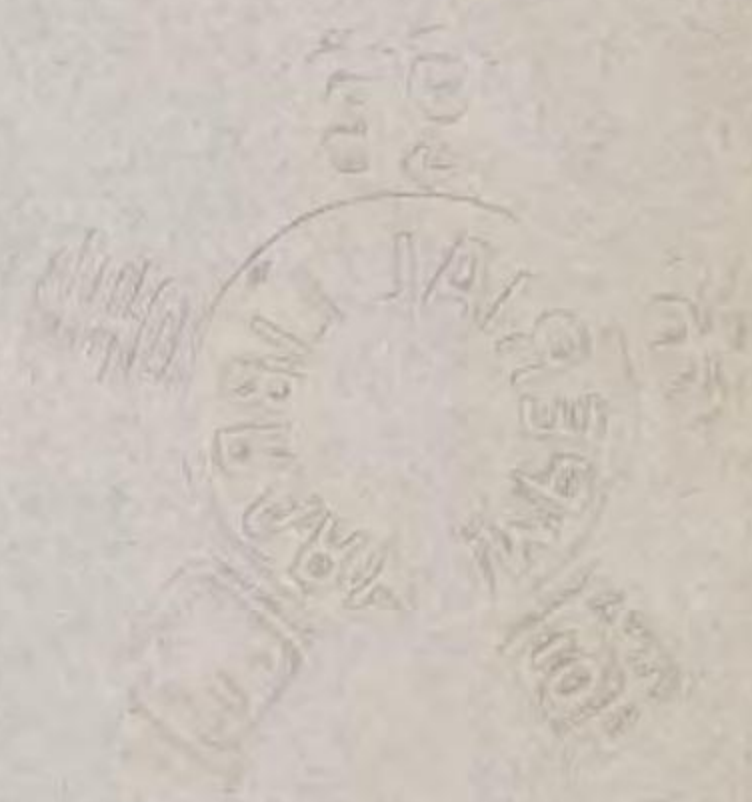
水 源 涵 養 附 圖 (14)



肥後國菊池郡深葉國有林內水源涵養林 (其一)



肥後國菊池郡深葉國有林內水源涵養林 (其二)



(15) 圖 附 林 養 涵 源 水



林養涵源水內林有國山角三村倉板郡城頸中國後越



林養涵源水域流川石阪黑流支川瀬良渡國野上



1910
MAY 10
10:30 AM
MAY 10
10:30 AM

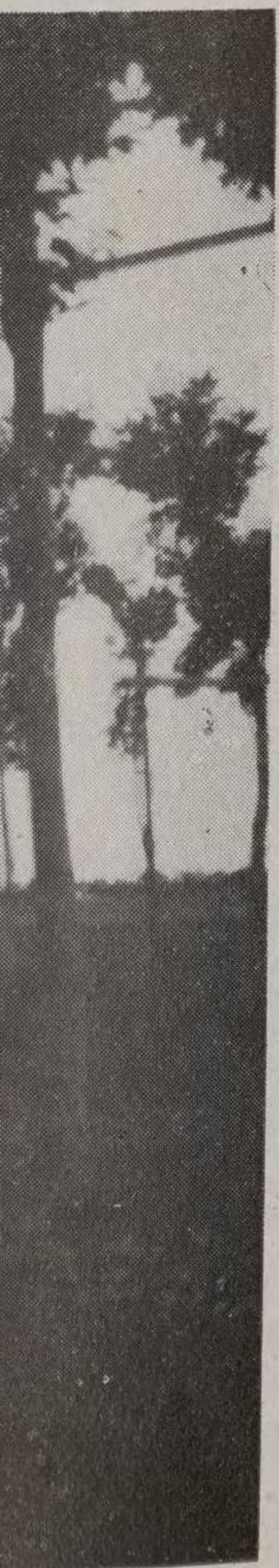
(1) 圖 附 樹 畔 畦



(一其) 木架田新澤ヶ天町戸須小郡原蒲中國後越



(二其) 木架田新澤ヶ天町戸須小郡原蒲中國後越



(2) 圖 附 樹 畔 畦



(三其) 木架田新澤ヶ天町戸須小郡原蒲中國後越



(四其) 木架田新澤ヶ天町戸須小郡原蒲中國後越

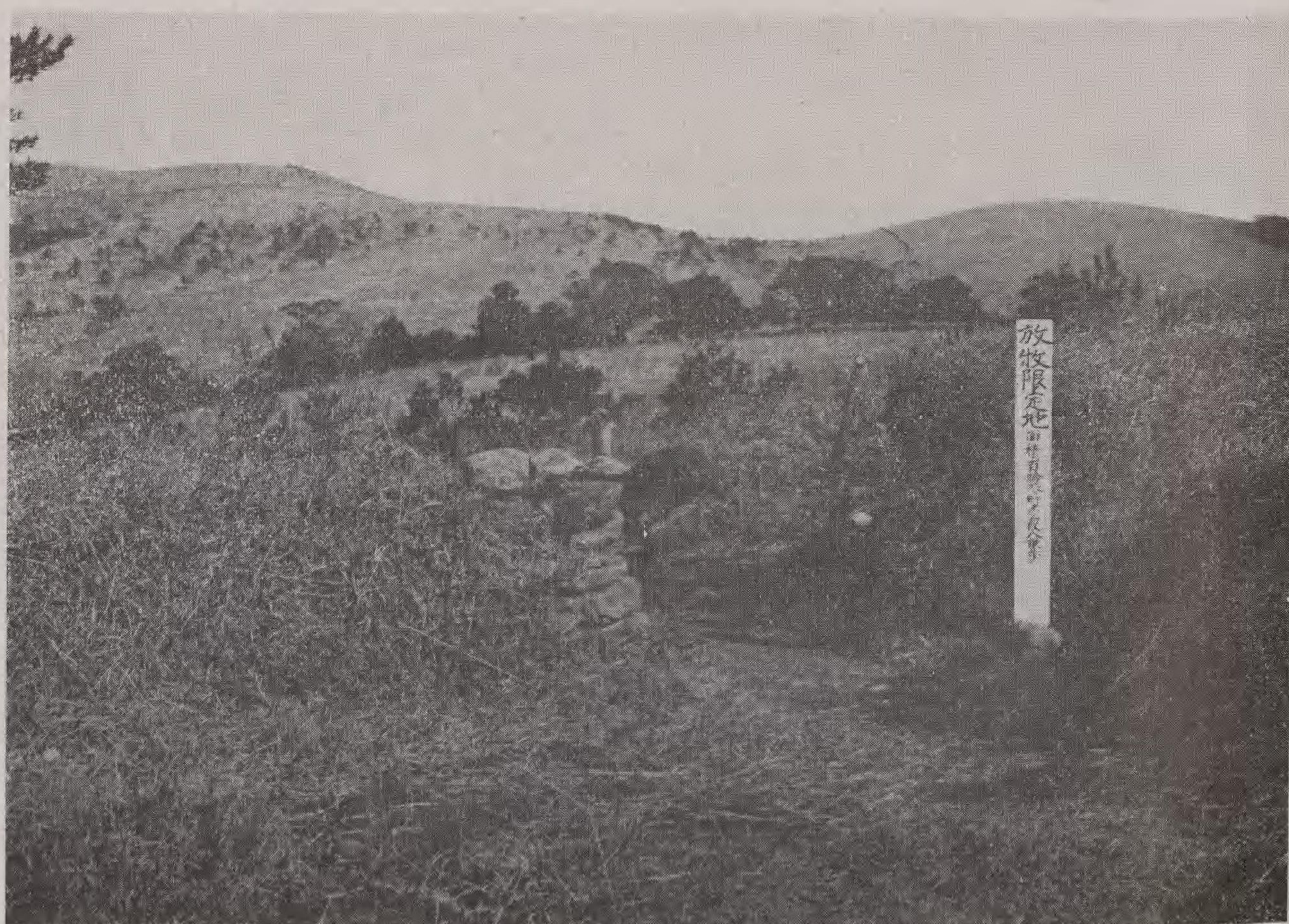


THE
LIBRARY
OF THE
MUSEUM
OF
COMPARATIVE ZOOLOGY
AND ANATOMY
HARVARD UNIVERSITY
CAMBRIDGE, MASS.

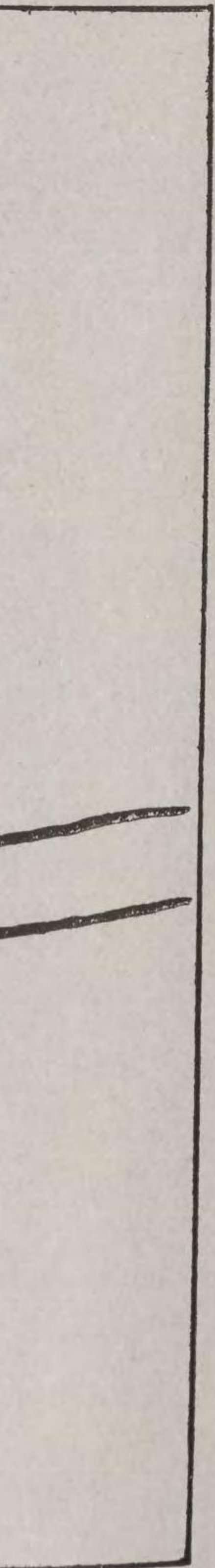
放 牧 林 附 圖



信濃國南安曇郡上高地放牧林



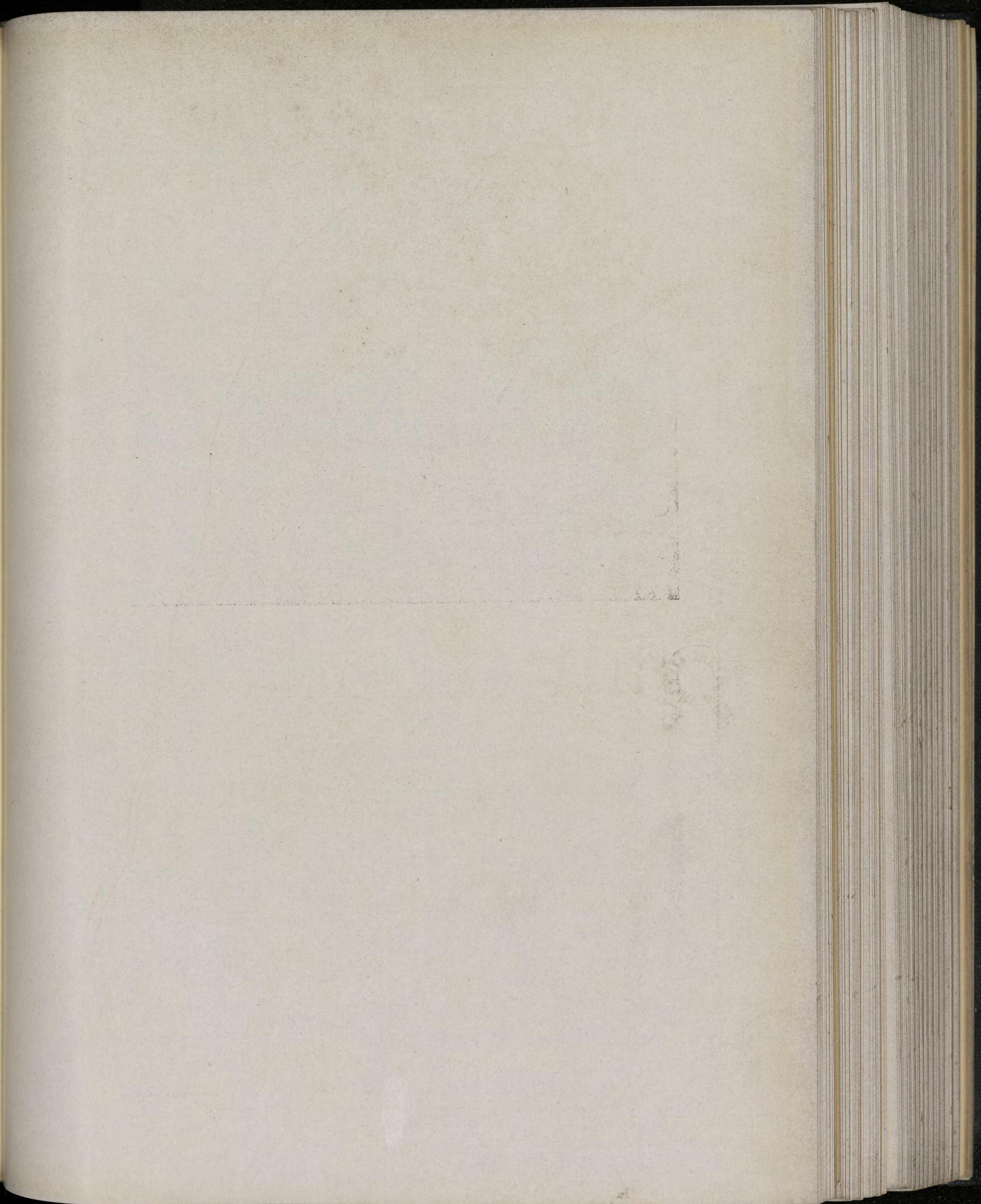
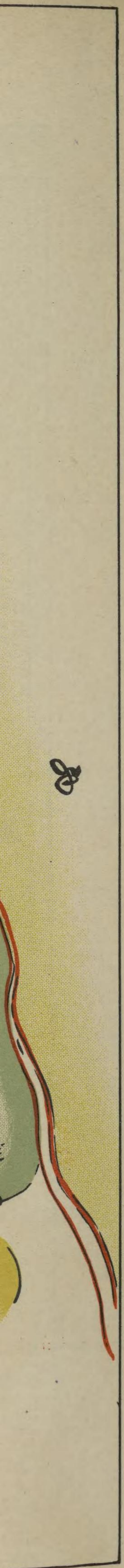
日向國西諸縣郡加藤村國林內放牧限定地



鳥場・鳥屋林防圖



〔上圖〕 加賀國江沼郡橋立村片野捕鴨場
 〔下圖〕 弘前藩妙見堂鳥屋林古圖



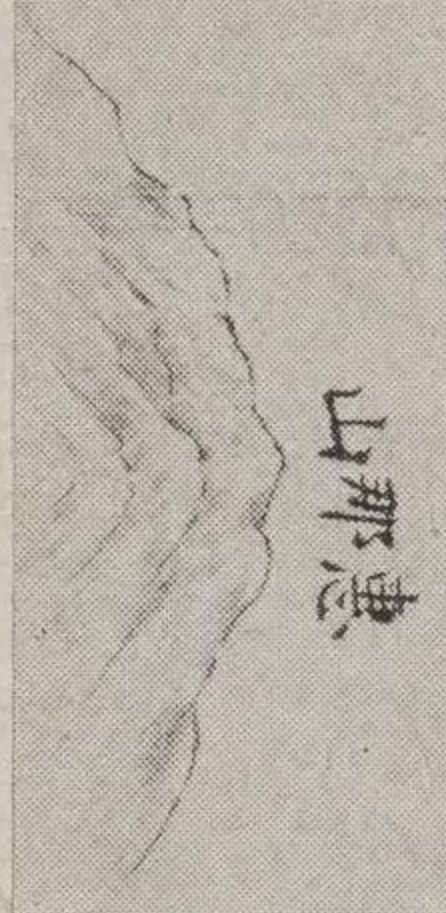


Handwritten text, possibly a title or description, written vertically in a cursive or calligraphic style. The text is very faint and difficult to read, but appears to be a single column of writing.



Small, faint text at the bottom center of the page, possibly a page number or a reference code. The text is barely visible and appears to be a few characters long.

北
子



山陽

子





(1) 圖 附 林 附 魚

大浦

(1) 圖 附 林 附 魚

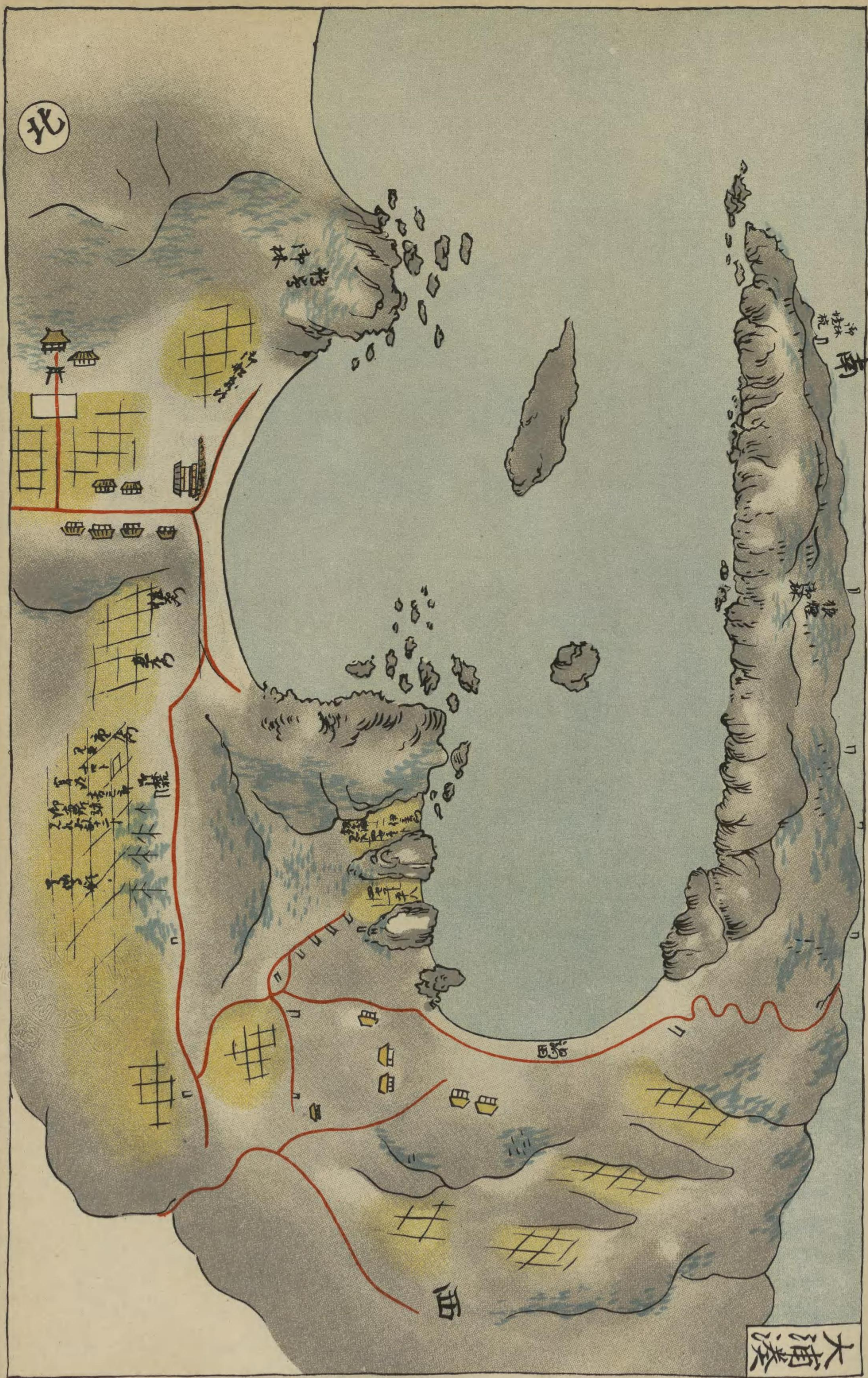
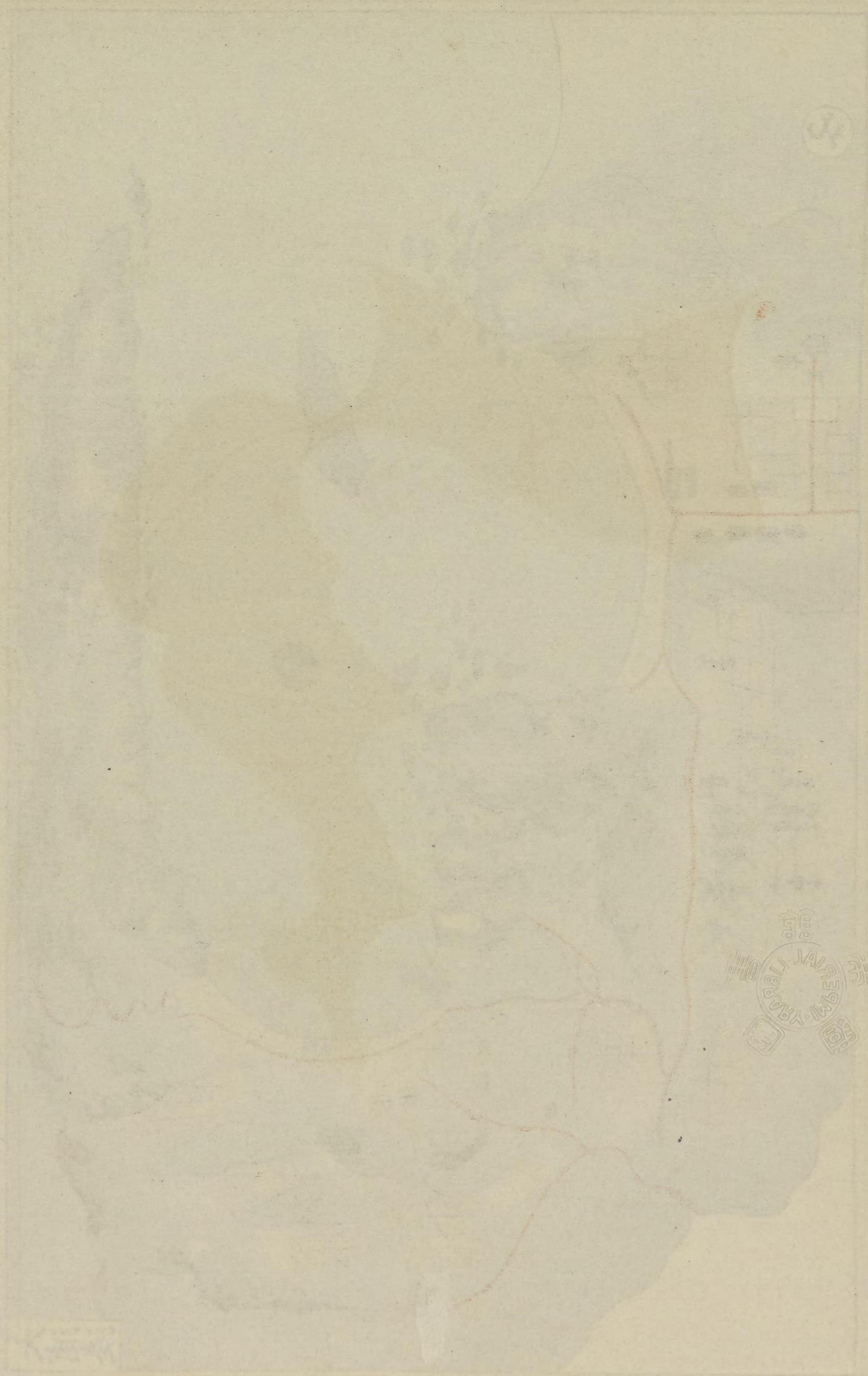
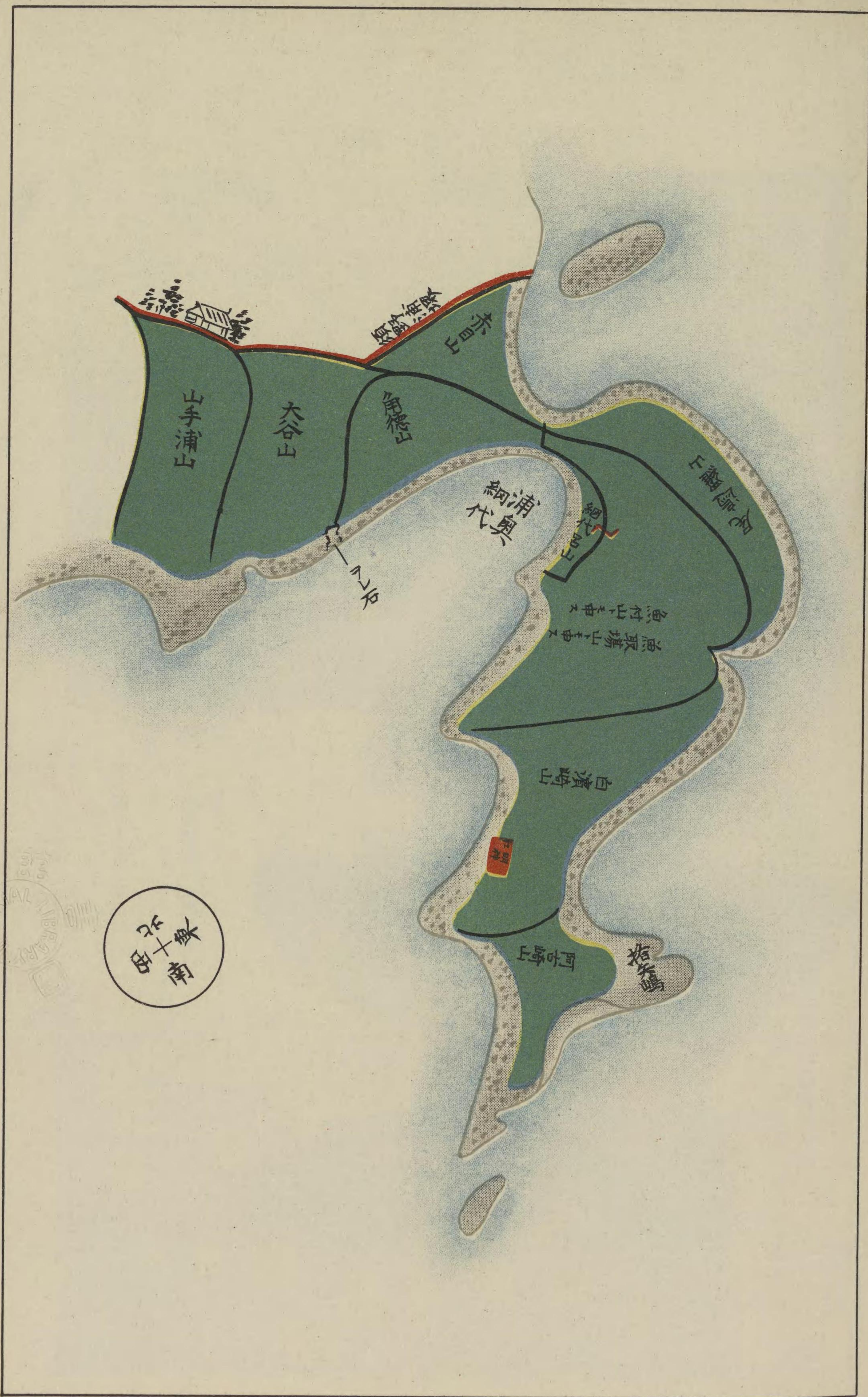


圖 古 林 御 田 下 國 豆 伊 領 府 幕

(2) 圖 附 林 附 魚

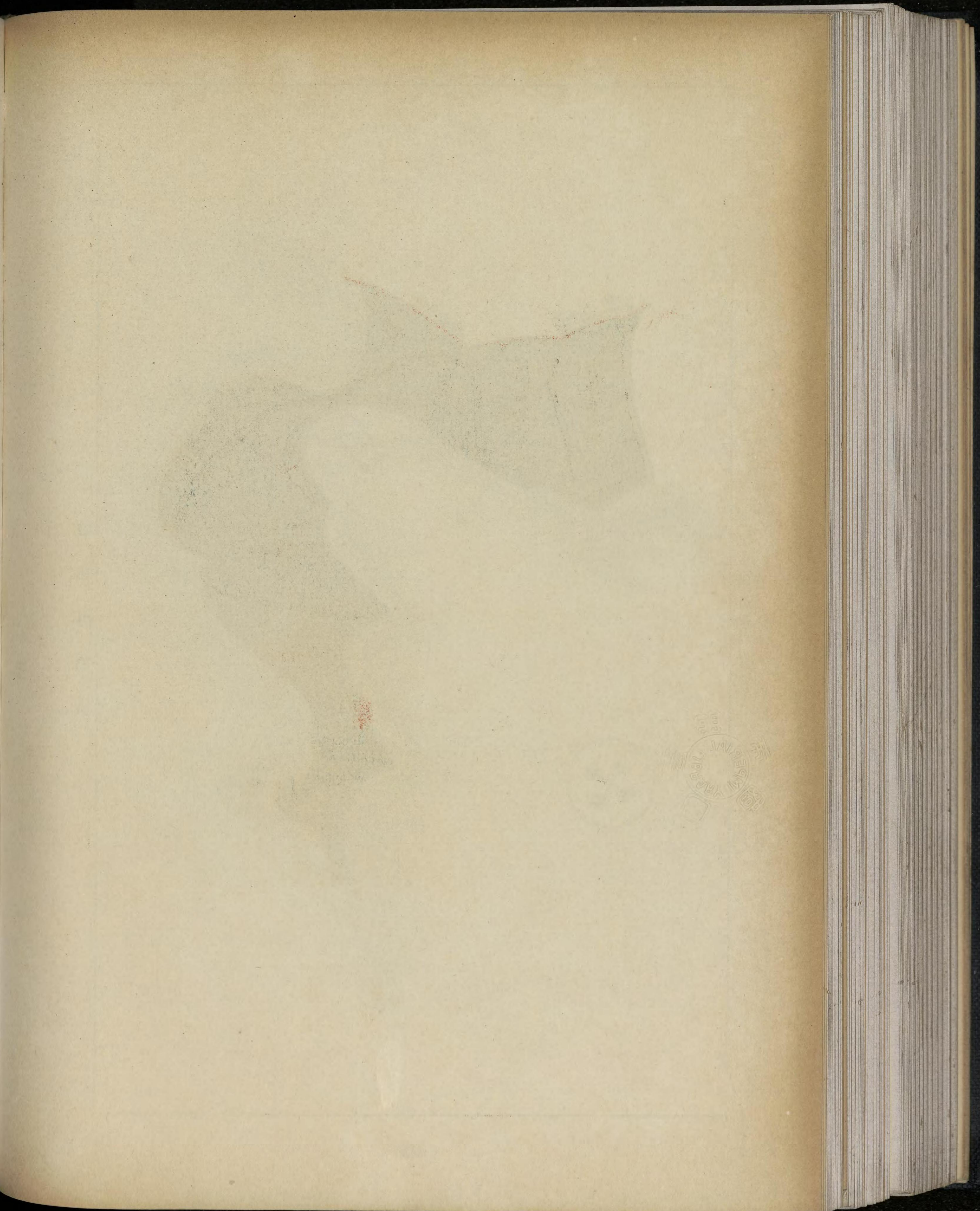




和歌山附魚附山古圖



〔下圖〕
讚岐國庵治村御殿國有魚附林



(3) 圖 附 林 附 魚

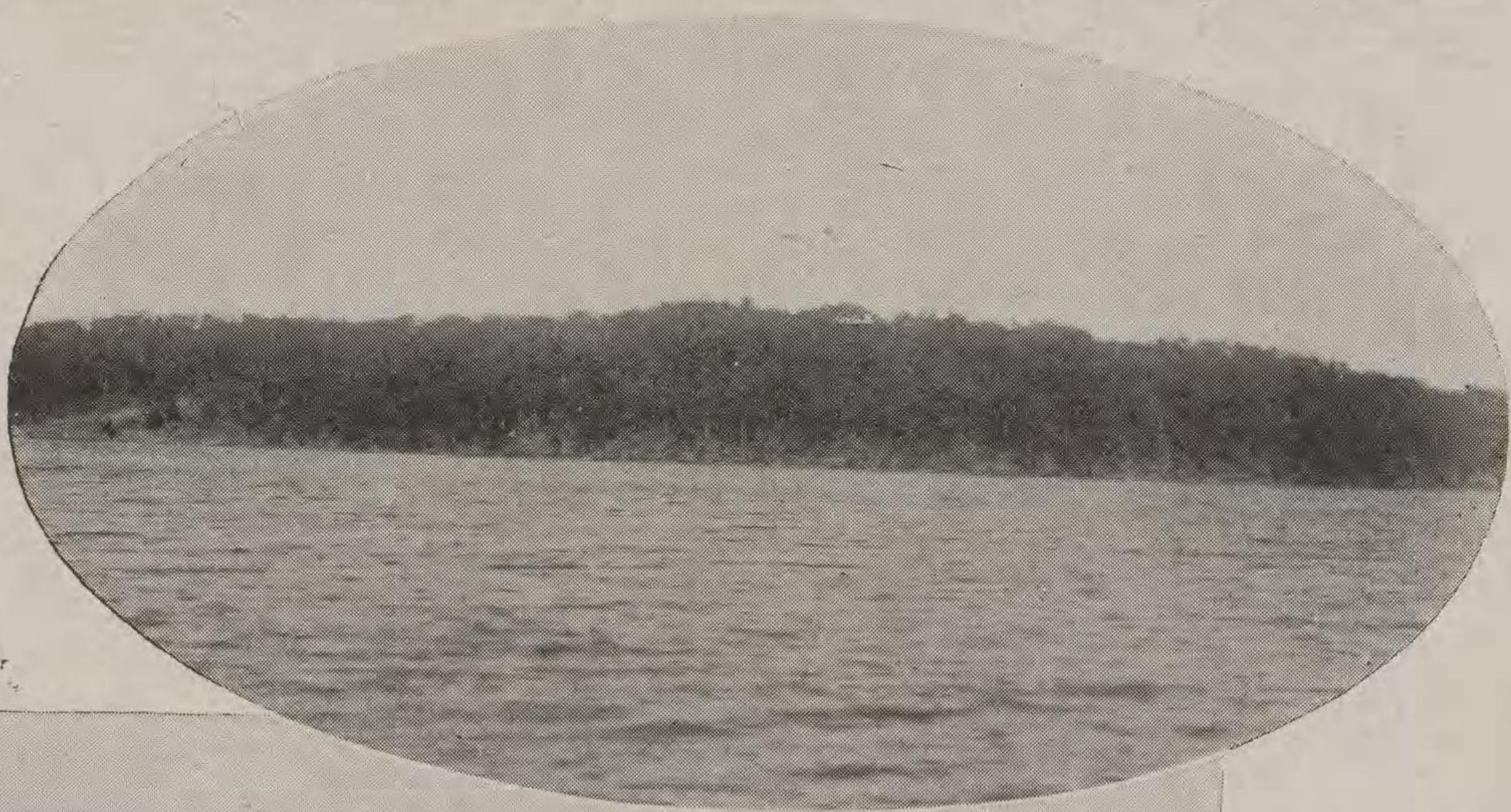


〔上圖〕

陸中國船越村大島魚附林

〔中圖〕

能登國穴水灣內魚附林



〔下圖〕

讚岐國庵治村御殿國有魚附林



松
林
城
附
圖
(1)

松

(1) 圖 附 林 城

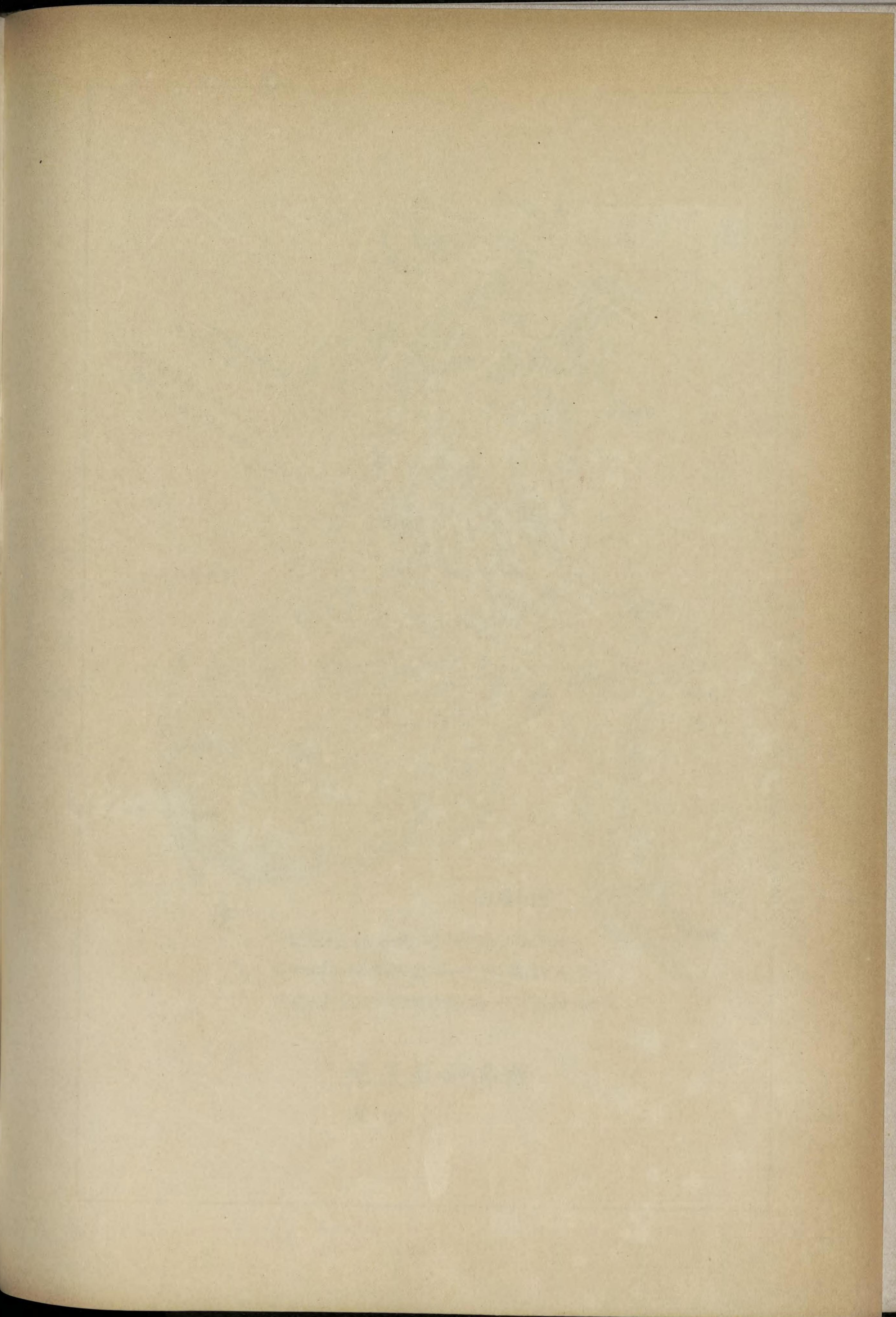
松

松





(2) 圖 附 林 城



(2) 圖 附 林 城



和歌山藩新宮城古圖

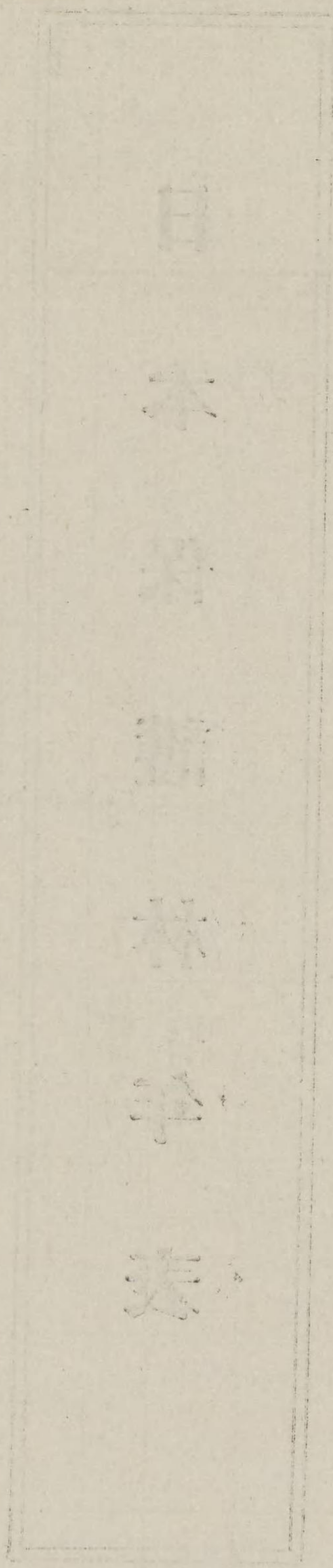
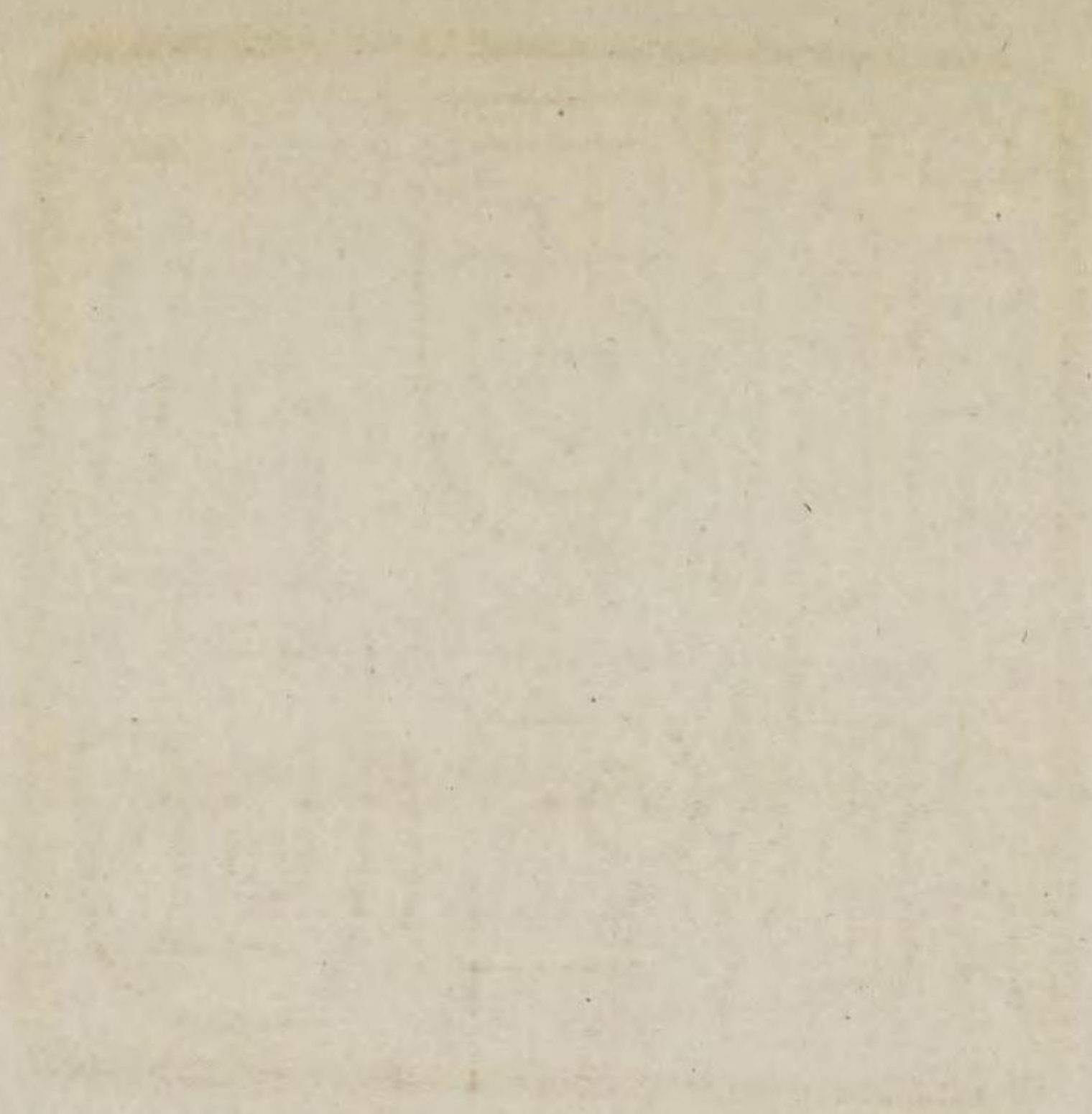


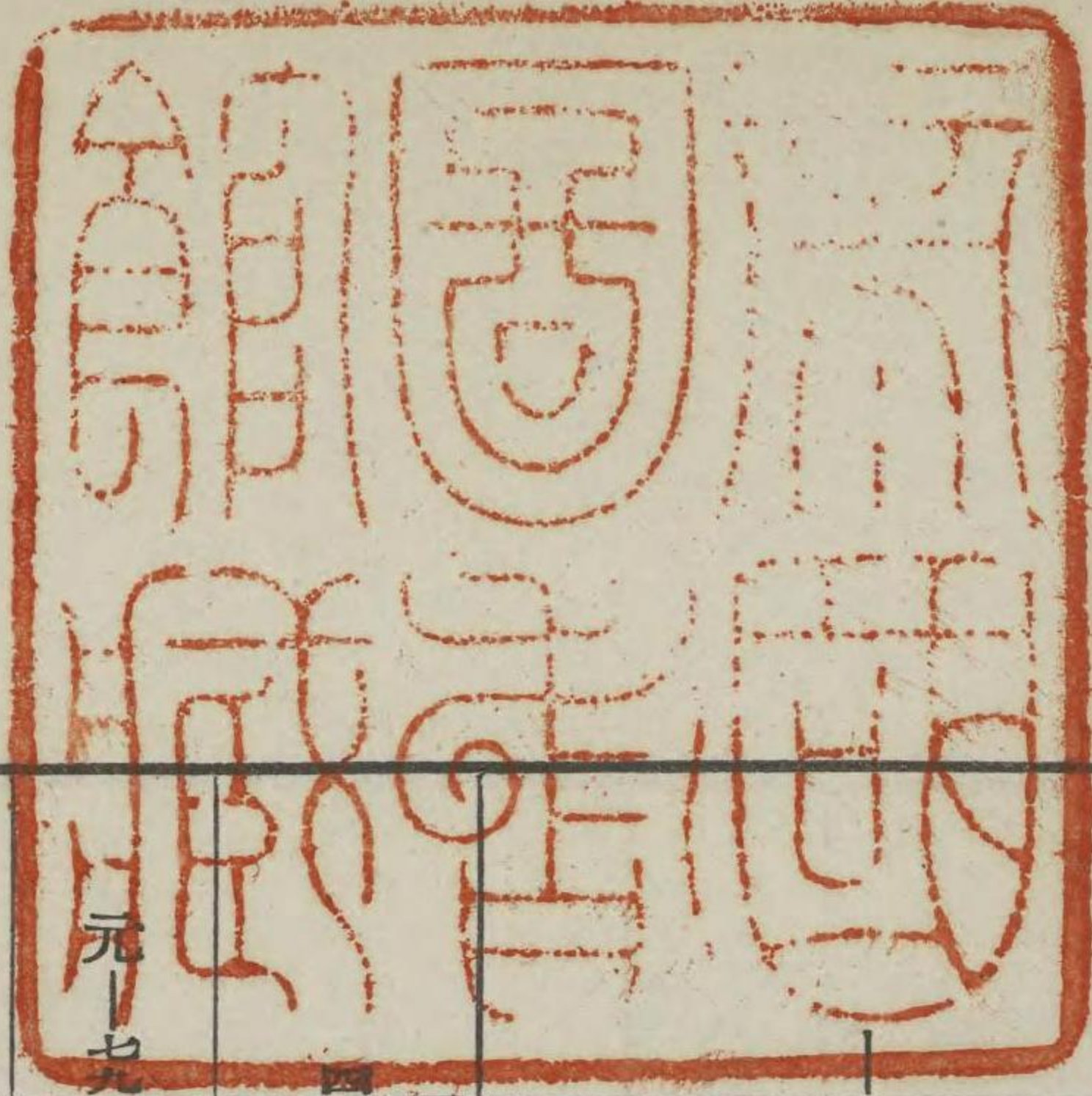
日本
分
類
林
平
家

日本保護林年表

	皇紀
	曆年
	月
高皇靈尊天津神籙ヲ起シテ	宗教的林系
	教育的林系
	風致的林系
	衛生的林系
	交通的林系
	保安的林系
天之水分神・國之水	農業的林系
山彦火々出見尊	獵漁的林系
海ヲ掌ル綿津神アリ	軍事的林系

日本新編林業表





日本保護林年表

皇紀	曆	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
神代				高皇靈尊天津 神籬ヲ起シ樹 テ天兒屋命等 葦原中國ニ持 降ル貴神幸魂 大己貴神諸山 奇魂ヲ三諸山 =祀ル(大和 國大神社)						天之水分神・ 國之水象女ア 水神罔象アリ 速須佐之男命 營田之阿離溝 埋田ヲ以テ始 稻種ヲ及長 田ニ殖ウ	彦火々出見尊 山幸ノコトア リ	海ヲ掌ル綿津 神アリ
神武天皇	四		二	皇祖天神ヲ鳥 見山ニ祀リ神 籬ヲ植ウ								
神武天皇時代												作城處ヲ城田 ト云フ
綏靖天皇	三							山陽道ヲ開ク				
孝元天皇	五		一					東海南海兩道 ヲ開ク				
崇神天皇	六			天照大神ヲ大 和笠縫ノ邑ニ 祀リ神籬ヲ立 ツ							鹿皮ヲ貢物ニ 定ム	
崇神天皇	七		七					諸國ニ船舶ヲ 造ラシム				
崇神天皇	三											
垂仁天皇	三									諸國ニ八百ノ 池溝ヲ設ケシ ム		
崇神天皇	三									依網池等ヲ開 ク		

皇紀	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
六三	垂仁天皇時代					倭姫命伊勢國 度會ニ園相社 ヲ定ム					
七五	景行天皇 六										
七八	景行天皇 五	八	蝦夷、三諸ノ 山ノ樹ヲ伐 リテ畿外ニ逐 ハル								
七七	景行天皇 五							大和國ニ坂手 池ヲ作り堤上 ニ竹ヲ植ウ	同上池水ノ保 存増加ヲ計ル		
八六	仲哀天皇 九		神功皇后凱旋 報賽ノ爲筑前 國香椎宮内 若杉上木祖 植現社ニ杉 植エ給フ	應神天皇ノ御 袍衣ヲ筑紫ノ 山ニ納メ標ノ 松ヲ植ウ							
八三	應神天皇 二						神功皇后豐浦 宮ニ幸シ驛路 ヲ造ラセラル ヲ(此時樟並木 ノ植エタリト ノ傳説アリ)				
八五	應神天皇 五										
九〇	應神天皇 一〇										諸國ニ海部 ヲ置ク
九七	應神天皇時代										諸國ヲシテ大 ムニ船ヲ造ラシ ム
九六	仁德天皇 一四	一一					大道ヲ京中ニ 置ク				針間・吉備間 クニ和氣關ヲ設 ク

九六	仁德天皇 一四	一一					大道ヲ京中ニ 置ク				針間・吉備間 クニ和氣關ヲ設 ク
----	---------	----	--	--	--	--	--------------	--	--	--	------------------------

皇紀	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
三三三和銅	六	一			鹿島神宮、松竹垣外ヲ衛ル						
三三五靈龜	元	六					大倭國都祈ノ山道ヲ鑿ツ				
三三八養老	二	五					土佐ニ至ル道路ヲ更ム				
三八一養老	五	一〇	太上天皇遺詔ニシテ喪處ニ常ニ葉之ヲ植エシメラル								
三七七—三三三養老年代		一	僧泰澄、日域鬼門ノ鎮守トシテ能登國ニ石動寺ヲ開ク								
三三九天平	元	八						憶良ノ歌ニ大伴ノ御津ノ松原アリ		鷹狩ヲ禁止ス	
三三三天平	五	一									
三三九—四天平	五—六	一				大伴坂上女郎屋前ニ橋ヲ植ウ					
三三七天平	九	四									
四〇二天平	三	二									諸國郡司ノ田産ヲ妨グテ禁ズ
四〇二天平	三	二									
四二二天平	四	二					東北ノ道ヲ開テ近江ニ通ズ				

八

上總國ニ大風アリ雜木一萬五千許海濱

日本保護林年表

一五七 延長	一五八 延喜年代	一五九 延喜	一六〇 延喜	一六一 延喜	一六二 延喜	一六三 延喜	一六四 延喜	一六五 延喜	一六六 延喜
五		元	五		六	二	八	元	〇
五		六			四		七	七	二
		山科山陵ニ奉 幣シテ樹伐 ノ罪ヲ謝ス						神功山陵ノ樹 木盜伐セラ ル爲燒ク	田邑山陵兆域 ノ野火ノ
延喜式内、神 社至中、神 延至内、神 社至中、神 延至内、神				素性法師、都 ノ柳櫻ヲ詠ズ	勅シテ諸寺山 中ノ樹木禁伐		賀茂神社ニ禁 獵ノ神山アリ		
	神泉苑ノ廻地 ニ柳ヲ植ウ					雅院ニ曲水宴 ヲ催サル			
	復ビ諸國驛路 兩邊ニ葉樹ヲ 植エシム								
				國々ノ調貢數 ヲ改メ鹿皮ノ 課國ヲ定ム				大規模ノ鷹狩 行ハル	

一五六 貞觀	八	三	九	拾町以内ノ樹 林禁伐	清和天皇百 花亭ニ行幸、櫻 ヲ賞シ給フ
--------	---	---	---	---------------	---------------------------

日本保護林年表

一六九長曆	一六九〇長元	一六八長元	一六七九寛仁	一六七八寛仁	一七二一六長和年代	一七六長和	一六七寛弘	一六六寛弘
三	三	元	三	二		五	四	三
	四	一二		一一			三	
杉鬼北主土 ヲ門原津佐 植寺村野須 ウヲ建谷高崎 テニ地行ノ テニ城								
				奉八山城 寄下筒國 セラ大明ヲ ラ神賀宍 ニ茂郡	高野山々々 ヲ荒廢ヲ憂 植栽スヒ檜			
	籬宅六 行ニ位 ハレ築以 ハル爾下 ノ爾垣ノ 來ヲ第 生禁第	庭清昭 ニ涼陽 移殿舍 植東ノ ス北櫻 ヲ	ヘニ上 樹法東 木成門 ヲ寺院 配ヲ第 ス構中		興極上ヲ込院後三 殿東造ミニノ條 ノ門ル深大御天 燒院林木ヲ所皇 失ノノヲ三讓 再京境植條位	宴極上 ヲ殿門 設クニ院 曲京	門一條 行幸京極 殿上東	

一六七永延	一六六天祿
元	二
テヲ山 正鎮國 體メ吉 ト榊田 ナヲ以 ナス社	
	附建 セラ立 ル山 林ヲ

一七六 永久	四	一	山城國稻荷山 ノ神木驗ノ杉 歌ニ詠マル	高野山ニ苗植
一七六―七 天仁天永年代				

一七九 大治	四	一二	天智天皇山陵 ノ樹木濫伐セ ラル	覺法親王高野 山ニ杉檜・金 松ヲ挿植ス
一七六―七 大治年代				
一八三 仁平	二	正	近江國明玉院 山内禁伐ヲ朝 廷ニ願出ヅ	百姓居屋敷ニ 立木植立ヲ命 ゼラル
一八五 久壽	二	八	近衛天皇ノ陵 ヲ築キ樹ヲ植 ウ	櫻町邸ノ四方 木ニ芳野櫻ノ並
一八六―八 保元年代				
一八五―六 安元年代				
一八四―九 文治年代			檢校理賢、高 野山ニ檜松・ 金松ヲ苗植ス	
一八三 建久	八	三	能登國法住寺 禁至内ノ樹木 伐	
一八二 建永	元	三		中御門京極第 ヲニ住吉ヨリ松 ヲ移植ス
一八一―七 承元年代				
一八〇 建保	元		木曾武並大權 現境内ニ鎌倉 ヨリ樹木ヲ移 植ス	
一七九 貞曉上人ノ、二 位禪尼ノ高野山 ニヨリ高野山 ニ植樹ス				

日本保護林年表

皇紀	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
一九五	正中	二			能登國永光寺 開山、松林愛 護ノ偈ヲ作ル	京都紫野大德 寺庭ニ樹木ヲ 植ウ				平家盛、伊豫 八幡神社ニ 大鷹取ヲ祈誓 ス	
一九四—五	正中年代	—									
一九八	嘉曆	三									
一九九	延元 (曆應)	二	後醍醐天皇ヲ 吉野山ノ麓林 ノ奥ニ葬ル								
一〇四	興國 (康永)	三			伊豫國觀音寺 ノ山林草木禁 制						
一〇〇—五	興國年代	—			對馬國中村頼 次、神山ノ制 ヲ定ム						
一〇六	正平 (貞和)	二			土佐國五臺山 金色院ノ山林 禁伐並禁獵						
一〇八	正平 (貞和)	三									
一〇三	正平 (文和)	七			足利義詮、京 都東寺ノ山林 禁伐ヲ令ス						
一一六	正平 (延文)	二	鹿島神宮靈木 天葉若木ノ枯 損ヲ言上ス								

11010 正平
元二

七

土佐國池山
ノ堂ヲ至山
木ヲ四境ト
ノ音ト

皇紀	曆	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
三三二	天正	一〇	三	甲斐國法泉寺 甲斐國勝頼父寺 武田勝頼 子ノ遺髮ヲ埋メ 櫻ノ遺髮ヲ埋メ 墓標トス								
三三三	天正	九				駿河國清見寺 山林竹木禁伐						
三三四	天正	八	九 四			播磨國月照寺 境內ノ山林竹 木諸役免除						
三三五	天正	七				河內國藤井寺 竹木禁伐						
三三六	天正	六				大坂ノ郷士、 吉野ノ櫻樹 一萬本ヲ寄附 繼植ス						
三三七	天正	五	三			和泉國松尾寺 山林竹木禁 伐ノ山林竹木禁						
三三六	天正	四	四			駿河國妙蓮寺 山林竹木禁伐 甲斐國法泉寺 山林竹木禁伐						
三三五	天正	三	一 二			甲斐國道遙院 山林竹木禁 伐ノ山林竹木禁						
三三六	天正	二										
三三六	天正	一										
三三六	天正	〇										
三三五	天正	九										
三三五	天正	八										
三三五	天正	七										
三三五	天正	六										
三三五	天正	五										
三三五	天正	四										
三三五	天正	三										
三三五	天正	二										
三三五	天正	一										
三三五	天正	〇										

其ノニ甲斐國惠林
上遺骨ヲ埋メ
ニシテ承禎寺
ヲ直メ

上野國大谷原
野松此年迄
植五萬餘
本ノ拾五萬
ニ達ス

三四天正	三五天正	三四天正	三四天正	
一四	三	三	二	
九	九 八 七 四	六	一 一 八	ウ其ノニ甲 上遺佐斐 ニ骨々國 杉ヲ埋承惠 ヲ植メ禎寺
	四方寄進 山林竹木五町 磨國雲龍寺 豐臣秀吉播 寺阿波國大聖 寺內竹木禁伐 ス竹伊羽 木國柴秀長 禁伐ヲ城ノ紀 伐ノ近江國日野町 山林竹木禁		丹後國智恩院 山林竹木禁伐 丹後國智恩院 禁伐苗植立 森ノ木ヲ植立 前國水落神明越 丹羽長秀越	
通ケ立弘 關嶮前 ノヲ藩 道開祖 路キ、 ヲ碇矢	ム並後上 木國杉謙 ヲノ植往信 エシ來、 ニ越		水甲 防斐 林國 ヲニ 造萬 ル力	

三四天正	
二〇	
三	墓メ子ニ甲 標櫻ノ武斐 ト樹遺田國 ス一髮勝法 株ヲ賴泉 ヲ埋父寺
	山 林河 竹國 木清 禁見 伐寺

皇紀	曆	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
三三〇	天正	一八	四			伊豫國龍潭寺 伊豫國竹木禁						
三三〇	天正	一八	七			河内國觀心寺 進山林竹木寄						
三三〇	天正	一八	八			能登國氣多神 社神林ノ小松 以下禁伐						
三三〇	天正	一八	一〇			身延山久遠寺 禁制中竹木免						
三三〇	天正	一八	一〇			佐渡國妙宣寺 竹木禁伐						
三三〇	天正	一八	一〇			豐臣秀吉、相 摸國最乘寺ノ制 竹木禁伐ノ制						
三三〇	天正	一八	一〇			身延山久遠寺 竹木禁伐						
三三〇	天正	一八	一〇			甲斐國向嶽寺 山林竹木禁伐						
三三〇	天正	一八	一〇			近江國三上山 神領地ノ柴ヲ						
三三〇	天正	一八	一〇			相摸國無量光 寺ノ竹木禁伐						
三三〇	天正	一八	一〇			下總國佐倉清 光寺内徳川廣 忠ノ墓上ニ厚 朴樹ヲ植ウ						
三三〇	天正	一八	一〇			豐臣秀吉、京 都ノ四周ニ境 ヲ植エシム						
三三〇	天正	一八	一〇			武藏國青山村 荒蕪地ニ樹栽 シ水利ヲ拓ク						
三三〇	天正	一八	一〇			德川家康、甲 相國境三増峠 ノ植樹ヲ命ズ						
三三〇	天正	一八	一〇			佐渡國羽茂城 四圍ニ繁茂セ ル城林アリ						

三三〇—五二元龜天正年代

仙臺藩、宮城
名取本吉各郡
海岸一帶ニ砂

皇紀	曆年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
三五六—七	慶長年代		秋田藩家土、杉ノ宮大明神、千本ヲ賽植ス	伊達政宗、陸前陣場山ニ植ヲ列植	紀伊國根來寺、四至内ノ山林濫伐制止		盛岡藩碑貫郡、石鳥谷附近海、道ニ一里塚ヲ築ク、一里、徳島藩、一里、每ニ塚ヲ置キ、松ヲ植ウ	彦根城外隄堤、塘ニ竹ヲ植ス		徳川氏木曾巢、山ヲ人民不入、禁伐ノ地トス	福岡城土手ニ松ヲ植ウ、彦根藩、土倉、岳要地ニ植、松ス
三七四—五	慶長一九—元和元		徳川家康、武蔵國大國魂神社ニ賽植ス								
三七五	元和元	四六八			七尾城山禁伐、越前國平泉寺、菩提林ヲ神領ト定ム						
三七六	元和元	正三			徳川秀忠、江州三上山ニ植ヲ命ズ						
三七七	元和元	七四三			松平忠直、水落ノ森ヲ越前寄附ス						
					金澤藩、能登國氣多神社ニ登						
					秋田藩、上山ノ法、寺野目林ノ採ヲ嚴禁ス						
					秋田藩上法寺、山ノ目林ヲ盜伐セラル						
					木曾山尾州領、トナリ巢山數、五拾九ヲ算ス						
					人吉藩預リノ、御鷹巢山指定						

三三三
元和
三
七
信濃國伊奈上
地ノ際城中竹
木禁伐ヲ令セ

皇紀	曆	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
三六〇	元和	六	三			武藏國喜多院 境内ノ山林竹 木免許	淺野長晟、廣 島城東ニ縮景 園ヲ造ル			秋田藩入角山 水野目山運上 水野ヨリ訴願 ス		
三六二	元和	七	四			日光東照宮社 參供奉條目ニ 竹木禁伐ヲ一 條トス 相摸國最乗寺 寺内ノ松、乘 戸城修築用ニ 伐ラル					米澤藩、鷹ノ 巢場ヲ禁伐ト ス	
三六三	元和	八	一〇		河内國鎌足ノ大 明神社地内ノ 徳川秀忠本陣 ヲ植ウ	相摸國最乗寺 内ノ松、駿河 忠長造館用材 ニ望マル						
三六三	元和	九	七			幕府、遠江國 味方原ヲ入會 地トス						

三七五—三三元年和年代

秋田藩主等杉
宮大明神ニ
杉一萬四千
本ヲ賽植ス

伊達政宗、仙
臺領ノ村落ニ
居久根ヲ植付

仙臺藩桃生郡
來村濱邊松
鷹來村濱邊松
ニ砂防林植栽

仙臺藩、樺平
御集子林ト
シテ禁伐

日本保護林年表

三三七寛永	三三六寛永	三三五寛永	三三四寛永	三七五三 元和年代
四	三	二	元	
正	六二	一四	一正	秋田藩主等 ノ宮大明神 ノ杉萬四神 本ヲ奪植ス
取境皇大 草内ノ神宮 刈木葉々 制止葉搔	禁ニ武家 ズ竹諸法 木濫伐度 伐中	山八高知 林幡藩、 竹宮々若 木禁寺ノ 伐宮	禁テ能登 伐山法國 ト林式天 ス竹目平 ヲ木ヲ以 ヲ寺	伊達政宗、 仙臺藩桃 居領ノ村 ケシ久根 ムヲ植落 付ニ
				仙臺藩桃 來村濱生 ニ砂防林 栽松郡
	札村德 ヲ用島 建水藩、 ツ林ニ八 ニ禁多			
	發鷹德 ス山川 ノ幕府、 禁令巢		定山福 ムノ井 役藩、 鳥高坂 ヲ鳥	
			制竹城二 止木修條 スノ築・大 濫ノ濫、 伐城坂 ヲ中兩	

三三三
元和

九

九

幕府、遠江國
味方原ヲ入會
トス

仙臺藩、樺平
ヲ御巢子林
シ禁伐ト

皇紀	曆年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
三九七	寬永	四			近江國三上山 神領地ノ山林 成木ス				幕領越後國赤 谷村ニ田地用 水林造成、禁 伐トス		
三九六	寬永	七			大坂城普請條 目中ニ竹木濫 伐ヲ禁ズ						
三九五	寬永	二			德島城下佐古 村諏訪明神社 境内ノ草木採 取禁止						
三九四	寬永	二			德川幕府、京 都ニ櫻町殿ヲ 築ク						
三九三	寬永	一			鹿兒島藩、並 木制度ヲ定ム						
三九二	寬永	一			幕領磐城國小 田川村並木植 栽ヲ規約ス						
三九一	寬永	三			盛岡藩、三戸 郡木崎野ニ母 馬ヲ放ツ						
三九〇	寬永	三			福井藩大野郡 拾六箇村炭谷 奧山ノ切畑炭 燒法度ヲ約ス						
三八九	寬永	五			日光東照宮境 内作毛之場ニ 馬放置ヲ禁制 トス						
三九八	寬永	三			弘前藩、百澤 寺結界山中ノ 諸木禁伐						
三九七	寬永	三			金澤藩、街道 筋ニ並木ヲ植 ウ						

三九三	寬永	九	八	伯耆國大山寺 山林竹木禁伐
-----	----	---	---	------------------

皇紀	曆年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
三三四—三三三	寬永年代					江戸淺草向柳原ノ蓬萊園成ル本城外水前熊ノ林泉ヲ成寺ノ林泉ヲ成趣園ト名ク					
三〇四	正保元	六	陸奥國遠野城 主ノ墓標ニヒ ばヲ植ウ		近江國延曆寺 山法度ヲ定 山探嚴罰ヲ メ盜探嚴罰 信濃國善光寺 山保國善光寺 寺領交換ノ爲	仙臺藩籠ノ嶽村 林アリ		幕領佐渡國八幡村ニ砂垣ノ制ヲ布キ同心ヲ設ク萬力林ヲ斐國防グ			
三〇五	正保二	九									和歌山藩、鷹狩取締ヲ令ス
三〇六	正保三								盛岡藩繫村ニ七箇所ノ水ノ目ヲ存ス		
三〇七	正保四	正 四 七			能登國氣多山能 社法國中禁伐ト 竹木ヲ禁伐ト ス 場一般ニ普請ノ ヲ合山林濫伐ノ ヲ禁ズ			金澤藩、石川郡粟崎村松原植付			

三三五—三三七 元和正保年代

仙臺藩、砂防生

	三〇九慶安	二〇八慶安	二〇四—七正保年代	三三四—三七七寬永正保年代	三三五—三〇七元和正保年代
	二	元			
	五 四 三 二	一 二 九 四			
		植二宮秋 千大明藩、 三百神ニ杉 本ニ杉ノ	植六宮秋 千大明藩、 五百神ニ杉 本ニ杉ノ		
	幡加賀國多田八 宮竹木禁伐	ス除ノ山摸 朱印ヲ木乘 下免寺	植松八加賀 栽三幡國赤 百宮社馬 五拾頭場 本ニ	ニ光松 杉街平 ヲ道正 獻及綱 植山、 ス中日	
	津藩、 壁ノ樹、 廢ス木 百公 收四	島沼金 ニ郡澤 移ノ藩 植樁主、 スヲ江	津藩、 敷廻リ、 命ニ百 ズニ植 樹姓屋		
		一德山 里藩領 塚ヲ内 築クニ	獻光松 植街平 ニ道正 著ノ綱、 手並日 ス杉		
ヲニ岡幕 植西市領 ウ海瀨甲 子兩斐 ノ村國 木境平	ノ新弘 杉寺前 林町藩、 ヲニ城 造防風 ル下	掘代津 ヲ並藩、 禁か竹 ズつく木 くい	建禁村秋 ツ伐水田 ノ野藩、 制目林大 札林澤 ヲニ		林郡仙 ヲ大臺 造曲藩、 ルニ桃 砂防生
	御弘 鳥前 屋藩 林妙 アリ見 堂				

	三〇七正保				
	四				
	七				
					ス竹木ヲ禁伐ト 場一般ニ普請ノ ヲ合山林濫伐 禁ズ
					植郡金 付栗澤 崎藩、 村石 松原川

皇紀	曆	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
三〇九	慶安	二	八			阿波國燒山寺 阿波國竹木再 禁伐	津藩、在所ニ 津藩、百姓四 壁ノ樹木濫伐 ヲ禁ズ		盛岡藩、小平 根市川除柳林 ヲ禁伐トス			
三〇〇	慶安	三	二	越前一國鬼門 ノ鎮守ヲシテ 平泉寺ヲ創建 ス		羽後國島海山 別當、堂林復 興ヲ建議ス				鹿兒島藩、出 水障リノ松ヲ 伐ラシム		
三〇一	慶安	四	一〇			津藩、國境ニ 松ヲ植エシム						
三〇二	慶安	一	二			德島藩、岡宮 御林ヲ禁伐ト ス						
三〇三	慶安	四	一	高知藩、火葬 ヲ禁ズ								
三〇八	慶安年代						將軍德川家綱 ニ從テ濱離宮地 ヲ作ル			會津藩、深澤 外六箇村ニ用 水林ヲ制札 建ツ		
三〇九	慶安年代									秋田藩、本郡 上岩村ニ水 野上林アリ		

德島藩、觀音寺
及佐田清光、仙寺
ノ山林、眞木寺

皇紀	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
三三三承應	二	一一			甲斐國法泉寺 ノ山林竹木三 度ビ禁伐	津藩、百姓四 壁ノ挿木ニ付 示達ス					
三二四承應	三	一一 八 二	秋田藩、杉ノ 宮大明神ニ杉ノ 三千三百餘本 賽植		近江國三上山 ノ法度ヲ定ム 並神明森禁伐			德島藩、撫養 里浦畑境ニ 松ヲ植ウ			
三二一四承應年代					越中國瑞龍寺 ノ竹木禁伐	修學院離宮造 營成ル		金澤藩、河北 郡高松外七箇 村海岸砂防ノ 松ヲ植ウ	秋田藩入角山 水野目禁伐ノ 御留山トナル		
三三五明曆	元	九 三	秋田藩、杉ノ 宮大明神ニ杉ノ 三千七百本賽 植		日光山條目ヲ 定メ領内山林 ノ竹木ヲ禁伐ト ス			盛岡藩、花卷 街道ニ松ヲ植 エシム	仙臺藩、栗原 郡柳澤御烏屋 林盜伐セラレ 米澤藩、廣原 川村鷹ノ巢場 入山禁止		

幕領越前國芋
庄内藩吉山村
松倉米川山
木水林禁伐
ケ平山境ニ
この木直繼

皇紀	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系	
三三八萬治	元	一二			陸奥國天臺寺 山ニ一代毎ニ 杉二百本植付 ノ定アリ	仙臺藩、保春 院ニ糸櫻ノ 實ヲ種ユ		徳島藩、勝浦 郡根井山ノ 砂原ニ松ヲ植 エ禁伐トス	岡山藩、和氣 郡熊山ヲ留山 ニ編入シ水源 涵養ニ資ス	盛岡藩主、松 屋鋪ニテ鹿狩 ヲナス		
三二九萬治	二	二 三 四 五 六 七 八 九	秋田藩杉ノ宮 大明神ニ杉二 千五百本賽植			金澤藩、百姓 居屋敷ヲ許ス 由處分ヲ自 居屋敷ニ減ズ 金澤藩、百姓 居屋敷ヲ減ズ 竹木禁伐ヲ令 ス	幕府ニ道中奉 行ヲ置ク	徳島藩、國中 ニ令シテ中 ニ草木ヲ植栽 セシム		徳島藩、鹿猪 御留山ノ制ヲ 定ム、御鷹野 場ノ制ヲ定ム	金澤藩御鷹場 ヲ定メ鷹遣及 鳥取ヲ制限ス	
					越前國大安寺 再建、山林一 里四方ヲ附セ ラ	金澤藩、庭木 等ノ取締方ヲ 令ス		金澤藩火除願 爲苗圃方植立 取苗圃方植立 同苗圃方植立 付用苗圃方植 續付用苗圃方 和伊賀三國ノ 幕府、山城ノ				

皇紀	年	月	宗教的林系	教育的林系	風致的林系	衛生的林系	交通的林系	保安的林系	農業的林系	獵漁的林系	軍事的林系
三三四	寬文	四			貴布禰神社、 木植講ヲシテ シムニ植樹セ						
三三五	寬文	五			貴布禰神社、 木ヲ伐探ス	仙臺藩、惣屋 敷木ヲ禁伐トス	金澤藩、松下 移往筋ニ松ヲ口				
		一〇			貴布禰神社、 御生所ノ櫟 ヲ禁伐トス						
		七			大聖寺藩主、 山代町龍宮院 遺跡ニ竹林ヲ 造ル						
		六									
		五									
		四									
		三									
		二							盛岡藩、九戸 郡北野ニ免野 守ヲ置キ免野 ヲ許ス		
		一								弘前藩、御鷹 屋林禁制ヲ令 ス	
		正						金澤藩、木津 砂防ノ筒村、 外六ノ松村、 砂防ノ松村、 添藩ノ磐城、 平藩ノ潮平、 海邊諸村ヲ禁 除松ヲ植エニ 名古屋藩、錦 織古山藩、錦 立御林山藩、 盜難ヲ防グノ 難ヲ防グノ			

盛岡藩主、
屋鋪ニテ鹿狩
ヲ催ス

三三七 寛文		三三六 寛文	
七		六	
正	一	六	四
			三 入 三 四 輪 山 社 山 ノ 出
	會津藩、赤崎 林ノ伐採ヲ禁 ズ 近江國三上山 中東平ノ所屬 ニ付山論生ズ		
		金澤藩、一柳 某屋敷惣廻ニ 柳ヲ挿サシム	
	金澤藩、往還 筋橋ヲ用ニ 松損木ヲ下 ス		
	幕領佐渡中興 御林ヨリ採 許材ノ伐採 ス	幕府川岸ノ開 木墾ヲ制シ エシム	幕府山ノ根 ヲ掘取テ命 ズ
金澤藩、雄子 泊及鳥追止 區域ヲ布告ス	儀ヨリ御鷹場 幕府御鷹場 鳥ヲ禁ズテ 度場ニ於テ 弘前藩、御 弘前藩、御 鳥ヲ禁ズテ 幕府御鷹場 儀ヨリ御鷹 ヲ達ス	川崎藩、廣須 弘前藩、廣 ヲ書上テ 橋ノ上ノ枯 金澤藩、御 橋ノ上ノ枯 澤ノ上ノ枯 ノ上ノ枯	盛岡藩主、鹿 屋鋪ニテ 催ス

平澤、磐城
海邊、諸
除松、植
名古屋、エ
織御林、山
立御古屋、
盜難ヲ防
グ

